Simplex
Asset Management

2027年2月期　中間決算短信（2026年2月21日～2026年8月20日）

2026年9月28日

上場取引所　東証

ファンド名　日経平均ベア２倍上場投信
コード番号　1360
連動対象指標　日経平均ダブルインバース・インデックス
主要投資資産　公社債
売買単位　10口
管理会社　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社　URL http://www.simplexasset.com/
代表者名　代表取締役社長　水嶋 浩雅
問合せ先責任者　ビジネスサポート本部　木村 幸恵　ＴＥＬ (03)6843－1413

半期報告書提出予定日　2026年11月20日

Ⅰ　ファンドの運用状況

１．2026年8月中間期の運用状況（2026年2月21日～2026年8月20日）

(1)資産内訳

（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産（負債控除後）		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月中間期	21,133	(75.6)	6,817	(24.4)	27,950	(100.0)
2026年2月期	33,073	(72.1)	12,817	(27.9)	45,890	(100.0)

(2)設定・解約実績

	前計算期間末発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当中間計算期間末発行済口数(①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
2026年8月中間期	416,620	819,600	819,440	416,780

(3)基準価額

	総資産(①)	負債(②)	純資産(③(①－②))	10口当たり基準価額((③/当中間計算期間末（前計算期間末）発行済口数）×10)
	百万円	百万円	百万円	円
2026年8月中間期	29,420	1,469	27,950	670
2026年2月期	52,159	6,269	45,890	1,100

２．会計方針の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更　無
② ①以外の変更　無

Ⅱ　中間財務諸表

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第 12 期 (2026 年 2 月 20 日現在)	当中間計算期間末 (2026 年 8 月 20 日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	6,766,424,655	3,812,820,877
国債証券	33,073,246,230	21,133,561,710
派生商品評価勘定	75,579,950	408,760,350
未収入金	－	62,486,250
未収利息	131,014	99,985
前払金	7,048,160,000	23,630,000
差入委託証拠金	5,196,443,451	3,978,808,946
流動資産合計	52,159,985,300	29,420,168,118
資産合計	52,159,985,300	29,420,168,118
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	6,003,864,075	1,268,645,200
未払受託者報酬	15,590,701	11,071,356
未払委託者報酬	218,269,718	154,998,869
その他未払費用	31,707,920	34,742,212
流動負債合計	6,269,432,414	1,469,457,637
負債合計	6,269,432,414	1,469,457,637
純資産の部		
元本等		
元本	4,166,200,000,000	4,167,800,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	△4,120,309,447,114	△4,139,849,289,519
（分配準備積立金）	△3,899,130,016	△3,899,130,016
元本等合計	45,890,552,886	27,950,710,481
純資産合計	45,890,552,886	27,950,710,481
負債純資産合計	52,159,985,300	29,420,168,118

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 （自　2025 年 2 月 21 日 至　2025 年 8 月 20 日）	当中間計算期間 （自　2026 年 2 月 21 日 至　2026 年 8 月 20 日）
営業収益		
受取利息	17,922,907	17,777,577
有価証券売買等損益	85,624,750	123,064,280
派生商品取引等損益	△11,372,921,675	△21,013,961,825
営業収益合計	△11,269,374,018	△20,873,119,968
営業費用		
受託者報酬	10,940,268	11,071,356
委託者報酬	153,163,750	154,998,869
その他費用	24,271,811	34,742,212
営業費用合計	188,375,829	200,812,437
営業利益又は営業損失（△）	△11,457,749,847	△21,073,932,405
経常利益又は経常損失（△）	△11,457,749,847	△21,073,932,405
中間純利益又は中間純損失（△）	△11,457,749,847	△21,073,932,405
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	－	－
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△1,329,047,696,258	△4,120,309,447,114
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,054,695,840,000	8,127,045,420,000
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,054,695,840,000	8,127,045,420,000
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	－	－
剰余金減少額又は欠損金増加額	3,840,240,550,000	8,125,511,330,000
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	－	－
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	3,840,240,550,000	8,125,511,330,000
分配金	－	－
中間剰余金又は中間欠損金（△）	△3,126,050,156,105	△4,139,849,289,519

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券 個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。 計算期間末日に当該金融商品取引所等の最終相場がない場合には、当該金融商品取引所等における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該金融商品取引所等における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融機関の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

区分	第 12 期 (2026 年 2 月 20 日現在)		当中間計算期間末 (2026 年 8 月 20 日現在)	
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額				
	期首元本額	1,369,500,000,000 円	期首元本額	4,166,200,000,000 円
	期中追加設定元本額	9,202,300,000,000 円	期中追加設定元本額	8,196,000,000,000 円
	期中解約元本額	6,405,600,000,000 円	期中解約元本額	8,194,400,000,000 円
2. 受益権の総数		416,620,000 口		416,780,000 口
3. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っている差額	4,120,309,447,114 円	中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っている差額	4,139,849,289,519 円

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	第 12 期 （2026 年 2 月 20 日現在）	当中間計算期間末 （2026 年 8 月 20 日現在）
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているためその差額はありません。	中間貸借対照表計上額は中間期末の時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「注記表（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 「中間注記表（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「中間注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（株式関連）

第 12 期（2026 年 2 月 20 日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等	うち 1 年超	時 価	評価損益
市場取引	株価指数先物取引 売建	85,868,315,875	－	91,796,600,000	△5,928,284,125
合計		85,868,315,875	－	91,796,600,000	△5,928,284,125

当中間計算期間末（2026 年 8 月 20 日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等	うち 1 年超	時 価	評価損益
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	55,811,555,150	－	56,671,440,000	△859,884,850
合計		55,811,555,150	－	56,671,440,000	△859,884,850

(注)1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおります。

4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（１口当たり情報に関する注記）

第 12 期 (2026 年 2 月 20 日現在)	当中間計算期間末 (2026 年 8 月 20 日現在)
1 口当たりの純資産額　110 円	1 口当たりの純資産額　67 円